

NGU NEWS ISSN 0915-8901

# COSMORAMA

59

2000  
OCTOBER



希望館キャンパスホール



Culture & Human Resources  
NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY

# CHOIR



## チャペルに高鳴る讚美歌の声 聖歌隊のみなさんに聞く

聖歌隊とはどのような集まりですか？  
またそのルーツは？

身近な友だちとどうして一緒にクリスマスの讚美歌を歌って楽しんでいると聞いた感じの集まりで、いわゆる本格的な聖歌隊というほどのものではありません。ですから、聖歌隊「と」よりも「チャ



丹下裕美子さん  
(外国語学部3年)

小林恵理子さん  
(外国語学部2年)

織間恵太さん  
(外国語学部4年)

渡辺恵子さん  
(外国語学部'99年卒)

石原大佑さん  
(外国語学部4年)

平田愛理さん  
(外国語学部'99年卒)

**COSMORAMA**  
**No.59**  
**OCTOBER 2000**

## CONTENTS

### Interview

聖歌隊..... 1

### Topics

通信制大学院の設置について  
清水克正..... 2

2000年度就職戦線(中間報告)..... 3

### NGU Focus

#### 留学体験特集

パシフィック大学 田中久美子... 4  
マコーリー大学 永田佐智  
天津外国語学院 長瀬泰子  
名古屋学院大学 シェロ・ケック

### Essay

シリーズ 「コーシンが行く瀬戸の街」  
叡智は高く... 木村光伸..... 6

シリーズ エッセイ  
こだわりの色 城 哲哉..... 7

### Campus Now

#### ゼミナル訪問

「黄ゼミ」 黄 名時..... 8  
「服部ゼミ」 服部育生

#### サークル短信

体育会「アメリカンフットボール部」..... 9  
文化会「美術部」

決算と予算..... 10

教育振興資金・研究奨励資金  
募金の御礼とご報告

### Information

父母懇談会は7会場で開催..... 12  
六合館にエレベーターが完成  
日本庭園に野外教室  
留学生別科 秋学期入学式  
シニア大学祭  
AO(体験入学等による)入試  
役員紹介  
行事予定 10~3月

### COSMORAMA (コスモラマ)の由来

「宇宙」や「世界」を表わすCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。

# Interview

## 聖歌隊



木村光伸学長も飛び入りで同席

ペルで讃美歌を歌っている仲間」といったほうがいいのかもいれませんが、  
まだ、それほど古くからある集まりではなくて、3年ほど前2人の先輩がよくチャペルでくつろいでいて、ピアノなど弾きながら讃美歌を歌っていたところ、せつかく歌うなら、クリスミスチャペルの時に聖歌隊として歌ってくれないかと頼まれたのが、始まりのようです。おそらく、人を集めて大きくしよつとする意識はなく、身近な友だちに声をかけ一緒に歌を歌って楽しむという感じだったようです。現在はメンバーも少し増え、10人ほどになりましたが、男性が2名しかいないので、クリストセンターのみなさんにも応援してもらっています。

練習はいつのまじりに行いますか？

練習としてあまり堅苦しい雰囲気ではなく、週に1回水曜日の午後11時から1時間ほど行っています。クリストセンターのオルガン奏者の有田さんからも時々指導していただいています。

毎回全員がそろつていつわけにもいかないのですが、みんなで歌を楽しんでいる。そういった自由な雰囲気もいいのかもいれませんが、現に、メンバーなかには他のクラブに所属している人もいます。

どのような歌を歌っているのですか？

讃美歌としても数多くありますが、私たちが日頃歌っているのは、

- 諸人よりて 112番
  - 荒野の果てに 106番
  - きよこの夜 109番
  - 神の御子は今宵しも 111番
- などです。

今までのところ、クリスミス・チャペルが練習の成果を発表する場となっていますので、讃美歌を中心に練習していますが、最近はチャペルの雰囲気にあわせ、「ノエル」や、その他の歌にもチャレンジしています。

現在の活動についてはどう思いますか

やはり、まず歌うことが楽しいというところ、それがみんなできちんと一緒に歌えることをさらに楽しんでいますね。最近では少し気恥すかしさからも抜けだして、成果をみなさんの前で出していきたくも思っています。

いつもチャペルで歌っているわけですから、ほかの学生のみなさんと比べますと、本学のクリスト教活動が身近に感じられると思いますか、いかがでしょうか？

そうですね。授業で「クリスト教学」があったり、学内にチャペルがあったりしても、日常のなかで

それを意識するようになってはあまりなかつたですね。チャペルにも気軽に入ろうという感じでもなかったですし……。

もともと特別な関心もなかつたのですが、やはり讃美歌を歌っていると、自然に関連した話にふれる機会も多くなり、堅苦しい「宗教」というイメージは薄れてきましたね。

これまでの聖歌隊の活動を通して、もしくは、一般の学生としても結構ですが、本学に望むことなどはありますか？

私たちも聖歌隊にかかわるまでは、チャペルに入ったこともありませんでした。ましてや、ほかの学生が4年間にどれだけ足を運んでいるのでしょうか。実際は、まだまだ堅苦しだけのイメージで、特にクリスト教に関心のない学生がほとんどだと思います。

大学もクリスト教という教えにこだわらなくて、生きていくうえで、これは大切ななと思えるものを、「おいや」「雰囲気」のなかで自然に理解できるような形で伝えてもらいたいと思います。

今後の抱負をお聞かせください。

これまで、きちんとしたクラブのかたちで活動してきたわけではなく、まあ、それが気楽で良かったというところもあるのですが、反面で簡単に崩れてしまつて心配もあるので、後輩のみなさんにはなんとか歌い続けてほしいと思います。

本日はいつもありがとうございます。

学生のみなさんで聖歌隊に関心のある人は、一度水曜日の午後の練習日にチャペルを覗いてみてはいかがでしょうか。新たな出会いがあるかもしれません。

この座談会は7月21日(金)11:00、チャペル会議室で行いました。



# 通信制大学院の設置について

外国語学専攻科長 清水克正  
外国語学部長

本学は、今年6月に通信制大学院外国語学専攻科英語学専攻修士課程（入学定員40名）の設置申請を文部省に行った。通信制大学院は、平成10年3月の大学院設置基準の改正により可能となり、地理的・時間的制約を超えて、広く大学院教育を社会人に開放しようとするものである。従来、大学院での研究・教育は、通学制を中心にしたものであったが、最近の情報・通信技術の進展を踏まえ、大学院の設置基準が改正されたのである。こうした分野で先進国である米国では「online university」・「distance learning」と言われ、インターネットなどを活用し、在宅学習を中心に高度専門教育が実施され、学位の取得も可能になっている。

本学は、開学以来、さまざまなレベルで地域との連携を深めており、特に、平成3年の「設置基準の大綱化」以降、学内での組織・制度の改革の中で、社会に開かれた大学「および」「生涯教育」への取り組みを重視しており、社会の多様な要望に応えようとしている。今までに、それぞれの学内機関を通し各種講演会・セミナーなどを開催し、また大学院は昼夜開講制により社会人に専門教育を実施している。通信制大学院はこうした社会と連携する教育・研究の延長線上にあるものであり、変革する社会の中で強い学習意欲を持つ社会人に大学院での研究・教育の機会を提供するものである。

ただ、通信制大学院は、通学制と基本的に異なり、自宅での学習とスクリーニング（面接授業）を

中心にし、自学自習を原則としている。このため多くの研究分野での教育が可能というのではなく、当然のことながら理工学系のように実験を中心とする分野では実施が難しい。つまり、通信制により十分その研究・教育の成果を上げることが可能であることが重要であり、現在、通信制大学院で開設されている研究科は、主に、文学・社会学・教育学および情報学などであり、文献による研究と資料調査の研究などが中心となる分野が多い。英語学専攻は、文献研究と資料調査を中心とかなり教育効果を上げることが可能であり、音声・映像を伴ったスクリーニングを実施することにより十分対応できるものと考えている。

教育方法としては、4月のオリエンテーションで配布される教材および指定図書について、自立自習的に読み（Read）、理解し（Understand）、問い（Question）をし、まとめ（Summarize）するという4つのプロセスが中心となる。読みと理解する段階で質問があれば、定められた方法で担当者に尋ね、またスクリーニングで直接対面指導を受けることができる。基本的に教材を中心に与えられる課題にレポートを書き、添削を受け、的確と判断されれば、試験を受け単位の評定が行われることになる。

本学は、英語学専攻の通信制大学院の設置を申請しており、既存の外国語学部と大学院外国語学専攻科（昼夜開講制）を基礎に、関係する教員の協力のもとに申請しているものである。本学

は、かなり以前より、語学教育、特に英語教育を重視してきており、母国語話者を含む専門家による語学教育、コンピュータなどのマルチメディアを取り入れた教育および留学制度などを基盤に語学に強いグローバルな人材の育成に努めてきた。今回の通信制大学院の申請は、長年培ってきた語学教育へのノウハウを基礎に共通語である英米語についての運用能力の養成と共にその言語構造、文学および教授法を中心に専門的な知識を総合的に備えた人材の育成を目指している。

情報・通信技術の進展により、今後こうした教育形態は増加する傾向が考えられ、既存の教育方法にも大きな影響を及ぼすことが考えられる。現在、学部二部の授業ではインターネットが補助的に使用され、今後、遠隔授業なども取り入れられれば、通信制と通学制の壁は低くなることが予想される。社会が急速に変革し、教育のポータルレス化が進展している今、本大学院の試みはこれからの教育を考える上で大きなインパクトを与えるものと考えられる。

本学にとって、通信制大学院の実施は初めてであり、現在、開設のための準備を鋭意進めているが、関係各位のご協力を切に要望している。





## Topics

# 2000年度就職戦線(中間報告)について

― 関連産業の好調をよそに、例年、本学学生の就職

先で主流をしめる販売・製造関連産業の景況は好転しているとはいえない。中部・9月の倒産企業の前年同月比較データからも不況感がうなずけます。本学入の求人数は4月時点での出足は昨年を上回りましたが、5月、6月以降は伸び悩みの状態です。加えて採用へのハードルは昨年に比べ高くなっていることが実感されます。

本学学生の内定時期は、6月がピークで8月が底となり、12月頃で終息しているのが、ここ数年来の実情です。このカーブの上昇・下降は景気動向に左右され、ピークの山が低ければ就職活動がそれだけ長期化したこととなります。また9月・10月以降は採用活動を終了した企業が殆どであり、結果として在学中に就職先が決まらないことを示します。

昨年の学生の就職活動への動きは資料請求・エントリーシート提出・会社説明会出席・採用試験(筆記・面接)へと慌ただしさが見られました。本年は特にエントリーシートなど採用試験までの事前提出物を求める企業が増えて学生の就職活動の早期化が余儀なくされているように推察されます。このことは、企業の採用方法の合理化・早期化が原因となつていようです。またインターネットを活用した採用活動が、学生の企業研究の粗雑さへと繋がっているケースも散見され、入社後のミスマッチが懸念されるようです。

次の1(1)～(4)で本学学生へ事前に行う就職活動支援から企業の求める人物像、活動結果としての内定状況(毎年データより傾向分析)、次年度就職活動を行う学生に対する大学の支援行事(ポイント)について説明します。

### (1) 就職活動支援

就職課では例年実施している就職ガイダンスを早めて6月1日から開始しました。翌年1月12日まで15回

実施し、そのなかで就職活動に必要と考えられる事柄について説明・指導しています。特に本年から学生の就職への動機づけを図るため個人・グループを対象とした面談を実施しました。その他、本学主催の会社説明会を開催して、学生の志望する業界の情報を得たり、希望する企業の採用担当者と直接話し合えるようにしています。この説明会を2月後半から3月上旬にかけて実施することで、実際の会社説明会への準備を整えることができます。566名の学生(54%)が参加しました。

### (2) 採用選考基準

量から質へと企業の採用方針が転換し、付け焼き刃的な対応では良い成果を得ることができなくなっており、そのため相当期間の事前準備が不可欠となっています。大手企業への決定者が昨年と比べ減少しています。

以下、面接で企業が求めている人物像の主なものについて、リクルート・ナビ(注)参加企業から抽出したものを列挙します。

- 1 学生時代に何を経験してきたか、その内容を具体的に分かりやすく説明できることが大切。またその経験のなかで自らどういった工夫や試みをしてきたかを語る事ができる人。夢や希望を熱く語る人。
- 2 チャレンジ精神をもって常に前向きに捉える姿勢。
- 3 応答態度が真摯で明るく前向きな人。
- 4 創造性をもって目的達成への力を感ぜさせてくれる人。
- 5 協調性、コミュニケーション能力、他人への思いやり、メンタルの強さ。

(注)リクルートがインターネット上に開設している就職情報サイトのこと。学生は登録すれば無料で利用することができ、企業情報を得たり志望企業に応募したりすることができ、情報を配信する会社には他にも多数ある。採用基準はこのリクナビに約100社の中堅企業を抽出し内容を集約したものです。

### (3) 本学学生の就職戦線

過去の内定状況を見れば、1997年度では95.2%、1998年度は93.3%、1999年度は88%となっており、年々新卒採用環境は厳しくなっています。特に、本年度については、本学学生は早期に活動開始したものの、6・7月の内定最盛期にさほどの効果をあげていません。この理由は粗雑な企業研究と、自己レベルの調整がつかず、表面的な志向にはしり失敗する事例が多々あることです。早期に自己認識にちた相談が要請されます。4・5月は就職希望学生にしては活動最盛期です。この時期を逸すると後々苦労をすることになります。また、ここ2・3年の傾向として懸念されることは活動途中で断念したり、中休みする学生が増えていることです。長期化(なかなか内定しない)を想起させる要因をクリアするには、就職課、ゼミ担当教員に相談することから始まります。本年度についても概ねこの傾向は続くであろうと推測されます。

### (4) 就職支援の活動の充実にむけて

新卒採用環境が厳しくなれば企業の採用試験は比例してハードルが高くなっていきます。ハードルの基準は、社会人として必要な一般常識を備えているかどうかであり、逆にいえば、企業が最低この程度は欲しいと考えているのです。このため大学生にとって、従来は常識的問題と考えられていた事柄(社会問題・経済問題)を理解させるため、再学習指導を迫られているのが実情です。

就職部ではこれらの状況をふまえて、新たに2000年度就職ガイダンス前半期間に従来のガイダンスに加えて、8日間の「就職講座」を開催して時事・社会現象の理解方法や文章作成能力の向上を指導していきます。

留学体験  
特集



田中久美子  
(経済学部経済学科4年)

パシフィック大学  
(アメリカ・オレゴン)

“You can do it.” Coe College

での研修を終えていざ留学先であるオレゴンのPacific Universityへ発つ寸前にKarenが私の肩に手を置いてこう言った。アメリカで暮らした10ヶ月の間、越えるべきハードルがそこら中にイモムシの如くトロトロと転がっていた。しかしその都度自分に言い聞かせたのがこの言葉だった。未熟な英語力である上に人見知りがちな私にとって、人との会話、寮での生活、膨大な量の宿題などチャレンジする対象は八百屋に置かれたみかんの籠盛りよりも高く積まれていた。しかしそれこそ入学以来安易な生活を送ってきた私の求めるものであり、それに挑むたび、また、極限に達するたびに自分をより理解した上で前へ進めたように思う。喜びも辛さも感動も悲しみもすべて含めた意味で



「最言」だった。

名古屋学院大のこのようなピカニである留学制度のもとで留学させていただいたことを心から感謝する。そして名古屋学院大のみならず是非この素晴らしい機会を存分に活用してほしい。まずは国際交流センターへ直行である。支えて下さった皆様ありがとうございました。

留学体験  
特集



永田佐智  
(外国語学部英米語学科4年)

マコーリー大学  
(オーストラリア)

2月の肌寒い日本から、残暑の厳しいオーストラリアへ飛び立ったのは1年半前。留学を終え日本に帰ってきてから半年以上経ちました。どのガイドブックにもオーストラリア人は気さくで誰もが“G’day, Mate!”と声を掛けてくるなんて書いてあったけれど、それは、日本人が皆親切で礼儀正しいと称されると通じるところがあるな、というのが私の感想です。大学は授業数が少ないのですが、エッセイ(レポートのこと)や試験が重なる時は期日の何日も前から“コン”向かいっぱなしの日々が続きました。

日本に帰る前、留学で得たものは何だか自分で問自答した時、真先に心に浮かんだのは友人が掛けてくれた言葉でした。“Be a stronger person.”それは達成できたなと思います。英語が話



せるようになりたいからと目指した留学でしたが予想外のことがありました。考えていたよりもつらくて、また同時に得たものも多かったということです。これからも、留学の経験をハネにして更に努力していきたいと思っています。



留学体験  
特集



長瀬 泰子

(外国語学部中国語学科4年)

天津外国語学院

(中国)

本当にあつという間の二年で  
した。中国での留学生活では、  
いろいろな出会いや経験を通し、  
自分の視野が広がったように感  
じます。

留学中、中国語は私にとって  
まさに手段でした。例えばそれは  
買い物だったり、各国から来た  
留学生との会話だったり、学  
習の枠に囚われないで楽しく中  
国語を身につけられました。

旅行では、中国のスケールの  
大きさを体感しました。東洋  
の△△と呼ばれ、水の豊かな蘇  
州があれば、月の砂漠の敦煌、  
同じ中国でありながら2時間  
の時差のあるトルファン。夜9時  
に見た太陽は本当に忘れるこ  
とはできません。



積極さで、自国の文化や歴史、  
また国際関係の話題を挙げ、  
いつも熱く語ってくれました。  
こうした交流の中で、中国に  
ついて知識と理解を深められた  
だけでなく、逆に日本について  
以前よりよく知ることができま  
した。そして改めて自分は日本  
人だと実感させられた、そんな  
留学でした。

日本留学  
体験



シエロ・ケック

(ウェスタン・ミシガン大学)

名古屋学院大学

(留学生別科)

日本留学は私にとって大変意義深い経  
験でした。来日するまでは、日本語、日本  
の家族や日本文化についてはほとんど知識が  
ありませんでしたがこの1年間でメリ  
カに居ては到底学が得なかつた様々な体験  
をしました。来日前にもう2、3年もち  
り日本語を勉強してくれば良かったと感じ  
ましたが、名学大での日本語・日本研究  
プログラムの内容は私にとってチャレンジ  
な部分も多く素晴らしいものでした。

私は日本の家庭にホームステイをする  
機会を得ましたがこれが一番印象に残る  
体験でした。家庭での日常生活を通して  
日本とアメリカの文化的な考え方の相違  
がよくわかりました。たまにはホストファミリーと意見がぶつかってしまうこともあり  
ましたが、そういうことがお互いの文化の  
理解と信頼関係の増進に役立ちました。  
本当にこの家族の「真な」なと感じるこ  
ともできました。ホストファミリーや他の日  
本の人々との深い人間関係が私の日本留学  
を本当に実りあるものにしてくれました。  
ホストファミリーや大学の友人と沖縄や  
九州・京都・東京など様々な場所を訪れそ  
の土地の生活や歴史に触れたことも日本の  
文化や生活をより深く理解するのに役  
立ちました。  
アメリカに戻ってからは、日本語の練習



本学外国人留学生として11カ月に及ぶ日本  
での留学生生活を終えた15人の留学生別科  
の1人から手記を寄せてもらいました。  
(原文英語)

# 叡智は高く……



瀬戸にはこの顔がある。ひとは陶磁器の街、そしてもうひとは自然溢れる里山の地としての顔である。これまで何度も記してきたように、瀬戸千三百年の窯業地は自然を貪り、ひしなが、栄枯盛衰を繰り返してきた。その間、生産地としての地位を美濃に奪われたり、新製品開発に行き詰まったり、経済的な理由から販路を閉ざされたりと、六古窯の中でも有力な位置を占めていた瀬戸の現実には複雑なものであったのである。

そういった時代の流れの中で変わらなかつたのは、瀬戸の地の住人たちのしたたかさではなかつたであろうか。僕自身、瀬戸とつきあいはじめてもう20年近くになるが、正直なところ、瀬戸人の本性には今もってよくわからないところがある。優柔不断であるように同時に融通無碍なところがあり、頑固なように意外にもさうい。仲がよいとつてその割に本音は見えない。こんな言い方をすると瀬戸の人は怒るのかなあ？、それとも、そのとおり「とじてくださるのだからか？、実はそのような瀬戸人の行動性癖が瀬戸の街と山野を創ってきたのではないかと僕はひそかに思っているのがある。名古屋学院大学に入学した学生がまず最初に「後悔」するのは、ななて埃っぽい、殺風景なと

ころにキャンパスがあるのかというところ。いや、品野台のキャンパス自体は日本中捜しても他にそんなに並ぶものがないくらい美しく、愛知万博予定地で保護論争の渦中にある「海上の森」にだつて引けを取らないくらい自然に満ち溢れている。問題は通学途上の惨状なんですね。陶磁器産業と窯業原料生産地であるからには、砂埃とタンクカーは産業都市瀬戸としては郷土の「埃」ではなかつた「誇り」なのだから、瀬戸の仁にしてみれば何の不思議もないのである。しかし瀬戸の故事来歴などには何の関心もなければ興味もないわが大学の学生諸君には、このような状況は単に薄汚ない、若者不在の街としてしか映らないわけで、「こんなところはもう嫌だ、どうかに移転でもできませんかねえ」といつ点で教職員と学生の意見が一致したりするでもちやうと待ててください。

たしかに埃まみれの街にはつんざりするけれど、なぜそうなのかというところをもつ少し丁寧に考えれば別の展開、すなわち瀬戸脱出ではなくて瀬戸の再生とともにNGUも大きく飛躍するということだつて考えられるのではないか。妻をいつと僕はそんな思いもあつて愛知万博に関わってきたのである。

さて冒頭でいかけた瀬戸のこの顔に話を戻そう。窯業地の栄華は時代とともに移ろい、その度に瀬戸の自然にさまざまな影響を与えた。瀬戸の仁は気づかなかつたのだが、自分たちの経済行為が瀬戸の自然を大きな振幅で変動させつつ



陶彦神社 お願い狛犬

けてきたのであり、その結果、大きな自然遺産を生み出したのである。いまその中で正の遺産として海上の森だけがクロアズアップされているのはあえて表現すれば、片手落ちであるように、僕には思える。産業と自然のダイナミックな調和こそが瀬戸の原風景なのだということに、いつたいつになつたらみんな気づくのだろうか。そうこうする内に万博会場としての海上の森は限りなく小さくなり、現象としての自然破壊は最小になつたかもしれないが、自然を捉える精神までもが無限に縮んでしまつたと思つのは僕だけだろうか。

瀬戸で開催される万博が、千二世紀の新しい「自然観」を発信し、瀬戸の地に新しい「自然像」を形成することを僕は主張しつづけてきた。それがアジアの、そして世界の自然を守る第一歩となるメッセージであり、それを発信できるのは産業と自然を一体のものとして生きてきた瀬戸の特権であるとともに瀬戸の責務だと考えてきたからに他ならない。でもそんな主張は自然保護一辺倒の人たちには戯言でしかなかつたのだろう。そして万博は瀬戸から少し遠ざかり、「自然の叡智」を考える前に「人間の叡智」の方が吹き飛んでしまつたのである。

それでも万博はやつてくる。瀬戸の街はもう万博であれ何であれ、外来者をもてなすこととともに自分たちが精一杯楽しむことで、自然と産業の調和した姿を見せるしかあるまい。それだけに産業とは名ばかりの、産業廃棄物処理施設で瀬戸の山野が埋め尽くされることだけは、いかにこつむりたいと願つのである。陶彦神社のお願い狛犬はそんなささやかな願いを聞き入れてくれるだろうか。

木村光伸(学長)



# こだわりの色

最近、日本色彩学会と呼ばれる学会の存在を知った。色彩は人間にとって普遍的かつ基礎的なものであり、想像される通りにその研究領域は服飾・デザインを始めとして、人文科学、社会科学、自然科学などのあらゆる分野に関連している。学会ができてもう30年、会員は2000名を超えるというから、伝統ある大きな学会と言える。世の中の流行を見回しただけでも、色彩はいろいろな疑問を私たちにいだかせてくれる。何故、日本の自動車市場ではシルバーの占有率が高いのだろう。女子高生のルーズソックスは、どうして白でなければいけないのだろう。考えてみると、なにかと興味はつきない。言語学の概説書によく紹介されるサピア=ウォーフの仮説は、言語が文化や思考などの経験様式を規定してしまうことを説いた。日本人の子供は太陽を赤く描くが、アメリカ人の子供はそれを黄色で描いてしまう。数年前、アメリカ人の女性と結婚した知人を訪ねた際、まだ幼稚園に通う娘さんの太陽の絵にいたく感銘した覚えがある。パインガールであるそのお嬢さんの太陽は、赤い太陽が黄色の光線を放射するものであった。二つの文化を背負う子供は、色彩感覚も融合している。

いつの頃からか、柔道の国際大会にさまざまなカラーの柔道着が登場するようになった。国際化の波に押されて、日本柔道連盟も認めざるをえなくなったと記憶している。国内大会では、まだ白い柔道着しか目にしないところを見ると、国内ではまだ何かしらの規制がかかっているのかもしれない。高校時代、私の通った九州の高校では武道が必修であり、私は柔道を選んだ。もう一方の選択肢であった剣道には端から興味が持てなかった。小さい頃から人との争いごとが嫌いで、臆病者の私である。周囲の者は私が面一枚でも防御されている剣道を選ぶもんだと思っていたようだ。しかし、私は躊躇することなく柔道を選んだ。遠い過去のことで、他の要因も絡んでいたような気がするが、白い柔道着に対する憧れがあったことは断言できる。道場では投げ飛ばされて気分は自滅寸前でも、自転車の後に柔道着をしばりつけて登校する自分が何故か誇らしかった。高校時代の心象風景の中で、柔道着は白であり、そうでなければならず、他の色では思い出が成立しない気がする。

去るものは日々に疎しというが、少しも疎くならないもうひとつの白にまつわる思い出がある。それは、高校時代、古文や漢文を教えて下さった恩師H先生の思い出である。先生は、決して教壇の椅子に

腰かけられることなく、背筋をピンと伸ばして、教科書を片手にしっかりと持ち、額にこぼれる汗を白いハンカチで拭き拭き授業を進められた。その後、大学にはいって学問的にも一流の先生方に薫陶を受けることができたが、語学の教師となって教壇に立つようになって理想の教師としていつも心に浮かび上がってくるのは、このH先生の授業の様子である。馴染み効果か、教室ではH先生のごとくありたいと願った。教師も人の子、体調不調の日もあり、座らずにずっと授業をすることが簡単そうで、実のところ、どんなに難儀なことか実際なってみてわかった。ただ、白いハンカチをもつことは容易にマネができた。教師を生業とすることを決断させた誘因とも言えるハンカチである、気分が滅入った時はポケットに忍ばせて教室に向かう。実際エアコンの完備された教室では、使うことは少ないのだが、白は私にとって、降参ではなく、初心を思い起こさせてくれる戦闘の証である。

カラーの柔道着と並んで柔道の国際化の象徴は、階級制の導入である。柔よく剛を制すの精神から言えば、小男が大きな男を投げ飛ばすのが柔道の本道であろうが、オリンピックでもご覧の通り、これも外圧のなせる技か、体重別に7階級にわけられている。国際舞台では、やはり土俵はひとつであってはいけいけいのである。個人の資質や能力を勘案してハンディを積極的に認めあうのが、フェアであり国際ルールなのだ。「大きい人も小さい人も、同じ土俵でともかく精一杯、一緒に頑張りなさい」そして落ちてきたら「アウト」では、あまりに個への配慮が欠けるのだ。ハンディを気持ちよく社会が認めているかどうか、その国の成熟度を知る尺度のように思える。アメリカの大学で一年過ごした時、車椅子専用のレーンが、キャンパスで一番込み合う教室棟の廊下に引かれていた。レーンの色は白であったことをよく覚えている。

これからの進むべき道を模索している学生たちと話をすると、いつか、高校時代のあの白い柔道着とH先生の白いハンカチを思い出す。自分に与えられた条件や状況を最大限に生かしながら、キャンパスで頑張っている学生達と接することは気持ちがいい。そういう学生



達と夏の初め、大学からそれほど近い、かつての尾張、美濃、三河の三国を見下ろす三国山にかけた。700メートルの高度にある展望台では、平地の猛暑を忘れさせてくれる涼しい風が吹き、大学のそばに、これほど見事な眺望がひらける場所があることに驚いた。空の色も品野台から見る空の色より青く感ぜられ、西には遠く、名古屋駅の2本の白いタワーもはっきり見えた。やはり、白色はいいなと思った。

しょう 城 哲哉 (経済学部 助教授 英語担当)

# S Seminar訪問 30

## 黄ゼミ

黄 名時

(外国語学部教授)



黄ゼミは中国の言語文化、歴史、社会をトータルに捉え、中国語と中国の魅力を享受してもらおうという観点から、毎年、複数のテーマを取り上げている。近年のテーマとしては中国の民間小説とその翻訳、北京語と共通語の関係、米国における中国語の学習、華僑の言語と伝統、中国語の発音習得法、中国の社会と生活。また、黄ゼミでは、しばしば中国のテレビドラマを見ながら中国の社会について考え、学生と論議したり、台詞の翻訳や発音の問題について講義を行っている。題材がドラマとこの点ともあり、時には目のやり場に困るシーンも出てくるが……、学生の中国

世界に対する関心は高い。

学生が卒論を仕上げるためにはその興味を引き出すことが必須であり、黄ゼミでは両腕を大きく広げ、上述の如く言語文化という広範な分野から多彩な題材を提供し、学生の関心に応えるようにしている。

また、休暇時に個人で中国観光旅行や短期留学を志す者には、直前の会話トレーニングを行い、留学しない学生に対しては留学者の刻苦奮闘の努力や体験を伝え、学習の励みとさせている。春に中国長期留学から帰国した者は、身につけた力を発揮しようとして誇りに満ちた態度で授業に望むが、その実力を維持するには日常の言語環境の難しさがあるため、黄ゼミでは留学経験者の意欲に応えて中国語のみの授業も行っている。一旦、日本語を使い出すと、せっかくの努力も水の泡となる。そんな中で、教室で、いかに発言が途切れ沈黙が続くことも最後まで自分の意思を伝えようと頑張る学生の姿に、毎年ながら感動させられる。その背景には彼らの多くが中国で友人をつくり、いつか近いうちにまた中国大陸を訪れたいという強い願望があるからである。「学而時習之、不亦悦乎。有朋自遠方来、不亦樂乎。」

## 服部ゼミ

服部 育生

(経済学部教授)



経済の国際化と産業構造の変化が進む中で、国際競争力を確保するために企業の再編を柔軟に行うための法制度が整備されつつある。一九九七年の独占禁止法改正により純粋持株会社が解禁されたのに続く一九九九年の商法改正により株式交換・株式移転制度が導入され、完全親子会社関係の形成を円滑に遂行しうるようになった。さらに本年五月の商法改正により会社分割新設分割・吸収分割(制度も創設され、企業再編の手法に新しい選択肢が付け加えられることになった。

服部ゼミでは、3年次に企業法の基本文献を講読し、4年次にゼミ生が各自のテーマを決定し、卒論を完成させている。ゼミの運営においては学生の自主的な意思を尊重することが基本方針となっており、卒論のテーマについても商法、独占禁止法および証券取引法上の基本問題から学生に自由に選択させている。従来から活発に議論されている問題(たとえば取締役の利益相反取引、独禁法の域外適用、インサイダー取引等)を選ぶ学生もいれば、最近の法改正により導入された新しい制度(たとえば金融持株会社、株式交換、会社分割等)を選ぶ学生もいる。

ゼミ生各自が必要な法律文献を十分に読みこなした上で、自分の考えをまとめ、自分で納得のできる論文を完成させることを期待している。法律学の論文であることから、できるだけ整合的に法解釈理論を展開し、かつ常識的に見ても妥当な結論を導き出すような論文を作成するよう指導している。また判例の取り上げ方、すなわち従来の判例の流れにおける当該判例の位置づけ、および学説との相互関係にも言及するよう注意を喚起している。

私自身はお酒を全然飲めないが、ゼミ生の間で親睦を図るため、年に一回はイベントを実施するよう努めている。



## シリーズ Circle短信

体育会

# アメリカンフットボール部



私たちアメリカンフットボール部は30名からなる部員で構成されています。部員の大半は大学入学時に勧誘され、ほんの少しの興味から入部しアメリカンフットボールにのめり込んでいった者達です。そのため高校からアメリカンフットボールを経験してきた部員は3名しかいません。まだまだ東海地区でアメリカンフットボールがメジャーなスポーツではないからです。しかしアメリカでは、三大スポーツの一つに挙げられる大変エキサイティングで面白いスポーツなのです。そのため

世界最高のスポーツ、体力と知力の極限に挑戦するライナルスポーツなど、フットボールを称する言葉もありません。ルールさえわかれば皆さんを必ず納得させることができるスポーツなのです。

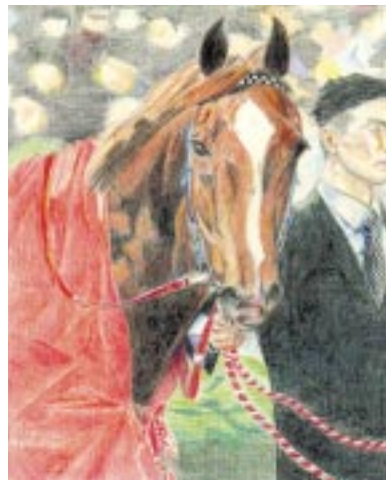
アメリカンフットボールと聞くと身体が大きくないとできないというイメージがありますが、実際は身体の大きさはまったく関係ありません。必要なものは個人のやる気と自分に負けない精神力、そしてアメリカンフットボールをどれだけ好きになれるかなのです。ポジションは細分化され、選手個々の能力を生かせるポジションがあります。しかも試合では選手の自由交代制がとれていますので、部員全員がレギュラーです。それだけやりがいのあるスポーツなのです。

今年是一部リーグ復帰を目指し日々自分に厳しく練習しています。何かをやりとげたい!と思っている諸君、私達とともに最強のアスリートに挑戦してみませんか。必ず納得できる結果がついてきます。

(経済学部4年 宮部 智)

文化会

# 美術部



昔の美術部は現在よりも絵画制作に対して活動的で、そのレベルも高かったようです。そのレベルの高さと引き換えに部員はサークル活動に非常に束縛され、部長を恐れていたそうです。現在の美術部はといえば、残念ながら作品のレベルではその当時に追いつけません。けれども、その分私たちは自由で楽しい活動を繰り広げています。

サークルによる束縛が強くてレベルが高い方がよいのか、少々レベルが下がっても一人一人が楽しみながら活動していける方がよいのか、大概にはいえませんが、現在私たちは後者の立場に立ち活動しています。

作品の制作という点では一人一人の自主性を尊重して活動しています。もちろん展示会の前は、絵

を描けー絵を描けーとはうばをかけなくてはならないのですが、できる限り各人が描きたいときに描きたいものを描くことを大切にしています。

そのかいあってか、現在では必要以上にサークルに束縛されることなく、部員全員が和気あいあいと楽しく活動しています。

秋には展示会や、大学祭など美術部の本領を発揮する行事が数多く控えています。特に展示会は多くの人に自分たちの描いた絵を評価してもらうことができる貴重な場です。今年はまだ美術部として自信を持って発表できるほどの活動をしていないので、張り切りますばらしい作品を制作するつもりです。そして一人でも多くの人に絵の良さを感じてもらいたいと思っています。

自分たちが少しでも心地よく絵を描き、みんなと心地よい時間を過ごせるサークルであるよう、これからもさまざまな工夫をしていきたいと思っています。

(商学部3年 清水 聡)

## 1999年度決算財務比率

### 消費収支計算書関係財務比率推移

No.	比率名	算式	95年度	96年度	97年度	98年度	99年度	私大平均	財務比率の意味
1	学生納付金比率	学生納付金 帰属収入	83.1	86.2	87.1	85.7	87.5	74.1	学生納付金は帰属収入のなかで最大の比重を占めるものであり、各学校法人の自力財源の確保という意味では、高水準で安定的に推移するのが好ましい。
2	基本金組入率	基本金組入額 帰属収入	14.6	23.1	15.5	16.5	14.4	17.5	帰属収入の中から、基本金にどれだけ組入れたかを示す比率である。自己資金の充実のためには、この比率が高いほど好ましい。
3	人件費比率	人件費 帰属収入	51.2	56.9	52.1	51.3	49.1	50.6	人件費の帰属収入に対する割合を示す比率。人件費は消費支出のうち最大の部分を占めており、この比重が高いと消費支出全体を膨張させ、支出超過を招く場合もある。低いほど好ましい。
4	教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入	21.0	21.6	24.0	23.8	24.2	23.3	教育研究経費の帰属収入に対する割合である。教育研究活動の維持・発展のためには、消費支出を圧迫しない限りこの比率は、高いほど好ましい。
5	管理経費比率	管理経費 帰属収入	7.4	10.3	9.1	8.7	8.6	6.8	学校法人の運営のため、ある程度の比率は必要だが、低いほど好ましい。本学はスクールバス運営経費がここに含まれている。(99年度3.8%)

### 貸借対照表関係財務比率推移

No.	比率名	算式	95年度	96年度	97年度	98年度	99年度	私大平均	財務比率の意味
1	固定資産構成比率	固定資産 総資産	90.2	87.6	89.2	81.6	81.0	81.2	有形固定資産とその他の固定資産を合計した固定資産の総資産に占める構成割合である。この比率は、流動資産構成比率とともに資産構成のバランスを全体的に見るための指標となる。資産構成の割合は、各学校法人毎に多様であるため、固定資産の内訳科目毎に分析する必要がある。低い値が良い。
2	固定負債構成比率	固定負債 総資産	11.4	11.8	10.7	9.3	8.0	9.7	負債構成のバランス及びそれぞれの比重を評価する指標。固定負債の内容は、長期借入金、学校債、退職給付引当金等であり長期に亘って、償還又は支払を要する債務である。高い値は、好ましくない。
3	自己資金構成比率	自己資金 総資産	78.5	77.2	78.9	80.7	82.6	83.0	基本金と消費収支差額を合計した自己資金の総資産に占める構成割合である。この比率は、高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資金を上回っていることを示している。高い値が良い。
4	固定比率	固定資産 自己資金	114.8	113.5	113.1	101.0	98.1	97.9	固定資産がどの程度自己資金で賄われているかを判定する指標。100%未満であれば、固定資産は自己資金で賄われており望ましいが、100%以上であれば他人資金にも依存していることを示す。低い値が良い。
5	負債比率	総負債 自己資金	27.4	29.6	26.8	23.8	21.1	20.6	他人資金である負債総額が自己資金を上回っていないかを見る指標で、100%以下で、低い値ほど望ましい。
6	流動比率	流動資産 流動負債	97.2	112.9	104.2	185.6	201.8	256.1	短期的に支払いを迫られる流動負債に対し、現金預金又は、短期的に現金化することのできる資産の割合がどの程度かという資金流動性即ち支払能力を判定する指標。150%~200%以上が望ましい。
7	総負債比率	総負債 総資産	21.5	22.8	21.1	19.3	17.4	17.0	総資産に対する他人資金の比重を評価する関係比率である。この比率は低いほど良く、50%を超えると負債総額が自己資金を上回ることになり、さらに100%を超えると負債総額が資金総額を上回る状態、いわゆる債務超過となる。

(注) 1 私大平均とは日本私学事業団「平成11年度今日の私学財政」の大学法人(医歯系法人を除く)の平均値 2 総資金 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額 3 自己資金 = 基本金 + 消費収支差額



## 教育振興資金

## 募金の御礼とご報告

標記の募金につきまして、皆様には、ご支援・ご協力を賜わり心から厚く御礼申し上げます。本学は教育の情報化、国際化、大学院の充実等熱心に改革充実に取り組んでいるところです。

皆様からご寄付いただきました資金につきましては、「教育振興資金」として、教育改革充実のために役立たせていただく所存です。今回は、2000年4月1日~2000年8月31日までにご寄付いただきました方々につきまして、感謝をもってご報告申し上げます。今後とも本学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

(名古屋学院大学教育振興資金募金委員長  
名古屋学院大学理事長 内山 道明)

寄付者ご芳名(順不同・敬称は略させていただきます)

### 父母会関係

上原 薫 市橋 嘉美 木内 信夫 山本 幸治 山川 祐次 浅井 利次 坂倉 一房 今井 義明 前田 国廣 山岡 義夫 中本 幸晴  
馬場 良行 加藤 敏安 田中 幸太郎 金子 敏朗 大野 勝弘 加藤 孝雄 横井 秋夫 鈴木 富康 大坪 弘明 福垣 隆博  
中山 勇次 鈴木 國太郎 菅原 英二 伊藤 均 喜多 直人 野崎 茂雄 丹羽 久和 富田 卓美 宮地 尊司 澤田 裕幸  
西村 康彦 喜多 敦公 川原崎章司 伊藤 雅之 井野口光男 可児 政秋 中島 義明 加藤 隆之 水野 克彦 高橋 志郎  
平野 紳一 大島 功 鳥居 秀雄 高橋 雅之 濱島 正紀 伊里 勝人 市原 義武 松田 久 石賀 忠信 高松 正義

木村 吉平 塚原 均 松葉 慶一 安田 勝郎 満石 通 渡辺 裕 河田 良三 佐治 一治 渡辺 隆 高野貴伝司 峰谷 司郎  
伊藤 定男 酒井 政次 朝倉 時男 杉田 義之 近藤 二吉 上平 康通 舟橋 幸正 近田 近 平林 英一 柳萬 政雄 田中 達郎  
古谷 嵩司 清水 雅明 早川 理 清延 秀明 山本 悦雄 近藤 和見 桐山芳次郎 谷口 峰将 川島 繁光 杉本 辰憲  
宮路 守 井上 隆義 大鐘 博雄 藤目 方敏 山本 一志 田邊 雅範 河合 章夫 瀬本 伸八 都築 孫七 澤田外喜男 坂口 恭弘  
糸川健司 立松 修 宮澤 弘子 神谷 太一 西尾 道 太田 廣志 桑原 孝吉 藤本 幸一 藤本 静大 大島 稔 藤井 敬寛

伊藤 哲夫 増井 隆 酒井 亨 鳥袋 剛 森川 敏広 松岡 繁計 鈴木 孝明 北原 保二 藤井 広 富田 祐宏  
鈴木 勝利 牧野 正義 蟹江 勝美 佐藤 秀一 志賀 聡 西岡 孝博 高井 俊朗 小林猪三郎 清水 秀雄 鳥原 武泰 水野 祐史  
浅原 光男 越山 繁雄 藤浪 照男 加藤 政雄 植田 英男 山本 信雄 市川 貴三 福井 治 山下 豪太郎 谷口 佐富 加藤 光雄  
安原 一秀 古田 秀一 其田 勝春 上森 敏和 山田 稔 草野 憲夫 藤田 謙二 上村 幸次 青木 秀雄 松島 敬春 相原 政信  
河田 敬雄 渡辺 克司 渡邊元二三 倉茂 充雄 森本 誠 山城 正彦 天野 隆弘 天野 隆弘 谷口 光雄 向井 正博 島崎 芳子

### 卒業生関係

奥村 一敬 1件 10,000円

法人関係  
(株)文教マネジメント 1件 1,000,000円

教職員関係  
大村 照夫 林 晃 3件 150,000円  
梅津 和郎

役員・募金委員関係  
内山 道明 藤田 行政 2件 300,000円

164件 2,950,000円

## 研究奨励資金

寄付者ご芳名(順不同・敬称は略させていただきます)

浅井 仁美 岩塚佐栄子 太田 恭助 尾関 文英 北田長三郎 齊藤 哲夫 篠原 正富 瀬戸 久敏 辻村 敏明 中村 弘 濱 重隆 藤田みずゝ 松浦 紘寿 森田 悦夫 山中 周一  
芦澤 鏡二 上田幸四郎 大野 富久 垣内 雄治 北村 明 斎藤 康仁 下村 勝 高木 一範 高木 一範 松原 朝男 森田 尚人 山本賢二郎  
猪飼 忠昭 上野 輝治 大橋 義則 岸 春徳 佐野 博美 白砂 忠行 高橋なつ子 鶴見 清 潤照 林本修一郎 船江 國夫 三浦 博明 森本 文夫 横地 鈴男  
井沢 紘一 内田 五郎 大庭 六雄 岸田 久和 澤田 孝豊 澤田 孝豊 寺沢 正臣 成瀬 慶兼 林 正夫 古内 政行 三宅 晃 安木 正一 吉澤 重幸  
石黒 一 内山 淳 岡島 公朗 加知奈緒美 久野 和男 澤本 操 中島 昭男 西川 明夫 林 正則 古川 君郎 水谷 孝雄 水谷 孝雄 矢野 三夫 吉田 勝美

伊藤 邦男 梅村美津夫 岡島 通夫 金刺 誠巳 河野 哲雄 白井 一夫 鈴木 満 竹山 義朗 中嶋 一徳 西浦 正篤 樋口 信夫 古田 力 宮本 吉男 山内 和彦 吉田 成廣  
伊藤 定澄 江場 康秀 岡田 孝義 金子 武 小竹 繁夫 柴田 邦男 鈴木 康文 立木 捷一 谷 典興 中野 正敏 藤男 丹羽 重孝 深見 康隆 古田 尚生 村下 利栄 山下 静人 山添 裕治 吉田 正美  
井上 潤 江尻 定史 岡田 信幸 小澤 直登 小林 嘉信 柴田 幹男 鈴木 芳郎 谷 光國 田畑 光夫 中野 正敏 福井 實一 福井 猛 前川 治 本山 静人 山添 裕治 米林 和雄  
今井 悦雄 及川 薫 小川 裕三 河合 智 近藤 雅俊 柴田 幸夫 住谷 光國 田畑 光夫 中野 勝治 信時 忠明 藤井 利巳 牧野 敏雄 百瀬 正幸 山田 廣次 脇葉 英直  
井本 美夫 大島 昇一 小栗 五郎 河村 豊 後藤 成志 信田 捷一 関谷 久男 千種 弘 中村 和彦 中村 和彦 中村 龍中 藤井 正郎 藤井 正郎 増井 俊一 森 俊憲 山田 吉勝

149件 3,690,000円

# 決算と予算

学校法人名古屋学院大学の1999年度決算は、去る5月23日に、また2000年度予算は3月22日に理事会と評議員会でそれぞれ可決承認されました。以下決算、予算について消費収支、資金収支を中心に概要を説明いたします。

学校法人会計は、経営の状態を見る「消費収支計算書」、資金繰りの状態を見る「資金収支計算書」および、財政の状態を見る「貸借対照表」により表示されています。当然この3つの計算書は相互に密接な関係があり、経営状態の善し悪しは、消費収支が均衡状態（消費収入＝消費支出）であるか否かが一つの判断基準になり、また、収入支出であれば資金繰りに窮することはないこととなります。その結果は、財政の状態を表わす貸借対照表上の正味財産の増加に繋がることとなります。

## 1999年度決算

### 消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度の帰属収入合計（借入金等収入を除く）から基本金組入額を控除した「消費収入」と当該年度に消費する「消費支出」を比べて当年度の「収支差額」を算出する構造となっています。これにより当年度の収支の均衡や経営状態の健全さを判断することができます。また、基本金組入額は当年度ないしは将来の施設・設備取得資金ですが、同時に持続的な教育研究活動を確保するために、計画的に自己資金を充実するよう別途留保し、消費収入、消費支出に反映させないことになっています。

消費収入は、50億7,200万円となっています。この額は、帰属収入59億2,400万円から基本組入額8億5,100万円を控除したものです。一方、消費支出は、48億7,100万円となっており、その結果、当年度の収支の差は2億100万円の収入超過となりました。これにより、翌年度への繰越超過額は、前年度からの繰越額（6億200万円の支出超過）を加算した額、4億100万円の支出超過額が残ることとなるので、本学財政状況の健全性、安全性の確保に向けて、次年度以降も更なる努力が求められます。

### 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入、支出の内容を明らかにすること及び支払資金の年末を明らかにすることです。資金収支計算書には借入金収入、前受金収入等が含まれ、また、施設・設備関係支出には資産の取得額が計上されます。1999年度の資金規模は、92億6,800万円、前年度比で、2億5,700万円、2.9%増となっています。資金繰りの状態を見るのは「繰越支払資金」ですが、1999年度末次年度繰越支払資金（33億3,400万円）は、1998年度末（30億2,400万円）より3億1,000万円の増加となっています。

## 貸借対照表

貸借対照表は、期末における大学の資産額を示し、その財源が負債（借入金等）、基本金、自己資金より調達した額）及び消費収支差額からなっていることを表わすものです。

1999年度の本学の総資産は179億6,500万円となっています。基本金と消費収支差額を合算した正味財産の額は、148億3,700万円で、前年度比7.6%、10億5,300万円の増となっています。

## 2000年度予算

### 消費収入予算書

帰属収入合計は60億4,500万円（前年度予算比2.8%増、1億6,400万円増）です。基本金組入額は6億6,700万円（前年度予算比16.6%減、1億3,300万円減）のため、消費収入は、53億7,700万円（前年度予算比5.8%増、2億9,700万円増）となっています。これに対して消費支出は、52億7,300万円（前年度予算比5.8%増、2億9,000万円増）であるため、当年度の収支の差は、収入超過額が1億400万円となっています。その結果、翌年度繰越消費支出超過額は、2億9,600万円で前年度繰越消費支出超過額を1億400万円減少（26.1%減）させています。したがって、2000年度予算は、予算編成の一つの目標である「収支均衡予算」が一応達成されているといえます。

### 資金収支予算書

2000年度の予算規模は、93億3,400万円（前年度予算比2.9%、2億6,400万円）となっています。資金繰りの様子を見る次年度繰越支払資金の額は、前年度からの繰越額より1億3,900万円増の34億7,400万円となっています。

### 2000年度の主な事業内容

- ・通信制大学院設置申請（外国語学研究所通信教育課程、01年4月開設、入学定員40名）
- ・情報教育推進（ノートパソコンを全学生に配布、第7期電算システムの導入初年度）
- ・国際交流推進（長期・中期・短期留学生の派遣180名、協定校からの交換学生の受け入れ）
- ・NGUバス運行（スクールバス 高蔵寺・瀬戸市駅の2路線 平日最大113便運行）
- ・就職講座（能力開発対策講座、資格講座11種、公務員試験講座）
- ・奨学金（学内奨学金・一般奨学金・学業奨励金・緊急奨学金・日本育英会奨学金）
- ・健康診断（定期健康診断・エイズ予防講習会）
- ・父母懇談会（開催地/大学、名古屋、岐阜、四日市、浜松、金沢）
- ・バリアフリー工事（希望館・第2研究館・図書館既設エレベータ改修工事）
- ・六合館（外壁防水塗装工事）
- ・チャペル（スタンドグラス設置）
- ・体育館（陸屋根防水塗装工事、メインホール南北鉄扉取替え、トレーニングマシン設置）
- ・体育施設（軟式テニスコート改修工事「人工芝張り替え」、ゴルフ練習場支柱取替）
- ・エクステンションセンター（名古屋学院大学シティカレッジ2000文化講座、コミュニケーション講座）

## 1999年度決算及び2000年度予算

### 資金収支計算書

（単位：千円）

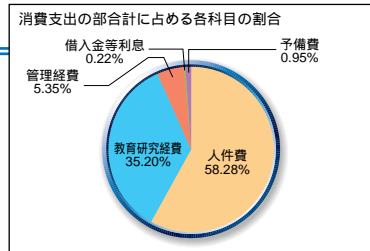
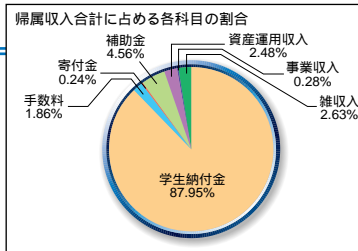
収入の部			支出の部		
科目	99年度決算額	00年度予算額	科目	99年度決算額	00年度予算額
学生納付金収入	5,181,527	5,316,862	人件費支出	2,917,245	3,056,884
手数料収入	133,092	112,307	教育研究経費支出	1,127,770	1,561,104
寄付金収入	45,673	14,700	管理経費支出	482,701	255,586
補助金収入	383,279	275,907	借入金等利息支出	12,842	11,602
資産運用収入	53,751	150,129	借入金等返済支出	157,495	147,135
資産売却収入	686	0	施設関係支出	126,113	58,981
事業収入	20,400	16,860	設備関係支出	128,764	61,316
雑収入	64,824	158,710	資産運用支出	789,710	658,125
借入金等収入	0	0	その他の支出	407,612	358,756
前受金収入	1,187,935	1,059,589	予備費支出	0	70,000
その他の収入	385,064	239,492	資金支出調整勘定	217,178	379,536
資金収入調整勘定	1,212,520	1,345,095	次年度繰越支払資金	3,334,947	3,474,455
前年度繰越支払資金	3,024,310	3,334,947			
収入の部合計	9,268,021	9,334,408	支出の部合計	9,268,021	9,334,408

### 消費収支計算書

（単位：千円）

消費収入の部			消費支出の部		
科目	99年度決算額	00年度予算額	科目	99年度決算額	00年度予算額
学生納付金	5,181,527	5,316,862	人件費	2,910,058	3,072,987
手数料	133,092	112,307	教育研究経費	1,434,248	1,856,380
寄付金	53,739	14,700	管理経費	509,535	282,140
補助金	383,279	275,907	借入金等利息	12,842	11,602
資産運用収入	53,751	150,129	資産処分差額	4,344	0
資産売却差額	160	0	予備費	0	50,000
事業収入	20,400	16,860	消費支出の部合計	4,871,027	5,273,109
雑収入	98,436	158,710	当年度消費収入超過額	201,711	104,659
帰属収入合計	5,924,384	6,045,475	前年度繰越消費支出超過額	602,997	401,286
基本金組入額合計	851,646	667,706	翌年度繰越消費支出超過額	401,286	296,627
消費収入の部合計	5,072,738	5,377,769			

## 2000年度消費収支予算



## 貸借対照表

（2000年3月31日現在）

（単位：千円）

科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
固定資産	14,551,228	13,926,145	625,083	固定負債	1,436,070	1,592,991	156,921
土地	1,977,435	1,952,542	24,893	長期借入金	435,074	488,508	53,434
建物	4,582,064	4,695,317	113,253	学校債	90,000	186,300	96,300
構築物	658,162	691,576	33,414	退職給付引当金	910,996	918,183	7,187
機器備品	297,347	301,308	3,961	流動負債	1,691,926	1,694,100	2,174
図書	1,725,389	1,632,088	93,301	短期借入金	53,435	52,195	1,240
車両	9,166	17,942	8,776	未払金	214,984	274,391	59,407
建設仮勘定	0	0	0	その他の流動負債	1,423,507	1,367,514	55,993
その他の固定資産	5,301,665	4,635,372	666,293	負債の部合計	3,127,996	3,287,091	159,095
流動資産	3,413,975	3,144,796	269,179	<b>基本金の部</b>			
預貯金	3,334,947	3,024,310	310,637	第1号基本金	12,373,936	12,056,418	317,518
その他の流動資産	79,028	120,486	41,458	第2号基本金	1,933,895	1,485,400	448,495
				第3号基本金	562,662	486,029	76,633
				第4号基本金	368,000	359,000	9,000
				基本金の部合計	15,238,493	14,386,847	851,646
				<b>消費収支差額の部</b>			
				翌年度繰越消費支出超過額	401,286	602,997	201,711
				消費収支差額の部合計	401,286	602,997	201,711
				<b>負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計</b>			
資産の部合計	17,965,203	17,070,941	894,262		17,965,203	17,070,941	894,262

## 父母懇談会は7会場で開催



父母のみなさまに本学の教育や近況について報告するとともに、学生のみなさんの成績状況、進路などについて大学と懇談する父母懇談会が夏季休暇中に開催されました。多くのご父母が

日程	開催地	出席者数
8月26日(土)	浜松	76名
	四日市	39名
9月2日(土)	金沢	46名
	岐阜	32名
9月9日(土)	本学	191名
9月16日(土)	名古屋	279名
合計		663名

出席されて、それぞれのご父母同士の情報交換もなやかに行われましたが、大学入きびしい意見も寄せられました。本学ではこうしたご父母からのご意見をもとに、より教育の充実や学生指導の向上を図っていくこととしています。会場別出席父母数は上記のとおりでした。

## 六合館にエレベーターが完成



夏季休暇中に六合館にエレベーター設置工事が行われ、秋学期以降利用できるよくなりました。1989年以降

建設された建物にはエレベーターや身体障害者トイレなどが設置されてきましたがそれ以前の施設には

そうした設備がなく身体の不自由な学生のみなさんにとって学内での移動に制限がありました。エレベーター(8人乗、音声つき)は六合館東側南面の階段部分に取り付けられ、2階から6階までの教室に車椅子での移動が可能となります。

## 日本庭園に野外教室



本学は自然に囲まれ、四季折々キャンパス景観が変化し、キャンパスに集う人たちを楽しませてくれます。

このほど、この自然のなかで授業ができるよう、「野外教室」が六合館前日本庭園(池のほとり)に完成し、利用が始められました。教卓1台と、学生用机7台と椅子14脚(3人掛け42名まで着席可能)が配置されており、ゼミ等少人数クラスの授業で利用ができます。

## 28名の留学生を迎えて秋学期入学式

「せともの祭り」で留学生みこしに参加



2000年度秋学期には28名(交換25名、私費3名)の留学生が入学してきましたが、その入学式が

9月14日(木)にチャペルで行われました。留学生は9月上旬に来日しており、それぞれ国際セミナー

ムスや本学留学生宿舎「桜館」に入居しました。

また、留学生は9月9日(土)に開催された地元瀬戸の「せともの祭り」で、「留学生みこし」に参加して、本学を地域にアピールするとともに、地域ぐるみでの国際化を盛り上げました。留学生の国・地域別内訳は次のとおりです。

アメリカ	17名(男10名、女7名)
オーストラリア	3名(男1名、女2名)
カナダ	3名(男1名、女2名)
中国	2名(男1名、女1名)
ドイツ	1名(女)
台湾	1名(男)
韓国	1名(男)

## 2000(ミレニアム)大学祭

20世紀の最後を飾る本学学生の祭典である大学祭が11月3日(祝)から5日(日)までの3日間開催されます。今年のテーマはそのものスバリ「プレミアム・ミレニアム de プレミアム」で、多彩な企画でキャンパスを盛り上げることとなっています。主な企画内容は次のとおりで、学生のみなさんはもちろんのこと、卒業生や地域にもアピールして多くのみなさんが参加できるようにしています。



ミレニアム大学祭パンフレット

11月2日(木)

スポーツ大会

11月3日(祝)

オープニング

フリーマーケット(5日まで)

瀬戸子供太鼓「こまいぬ座」公演

11月4日(土)

コンサート「井手麻理子」

11月5日(日)

世紀末「名学女王杯」

トークライブ「ジバングール」

(川村真由、梶真理子、中野奈美、坂井正子、伊藤絵里香) 後夜祭



# Information

## 2000年 10月～2001年 3月行事予定

### 10月

- 5日(木) シティーカレッジ2000「英語で万博(英会話初級コース)」(12月14日(木)まで毎木曜全10回)
- 6日(金) シティーカレッジ2000「英語で万博(英会話中級コース)」(12月15日(金)まで毎金曜全10回)
- 14日(土) シティーカレッジ2000「親子でインターネット」
- 15日(日) 創立記念日
- 21日(土) AO入試  
編入学試験(指定校・一般1次)
- 28日(土) シティーカレッジ2000「親子でインターネット」
- 30日(月) 留学生別科フィールドトリップ  
(11月1日(水)まで) [白川郷・金沢]

### 11月

- 2日(木) 第36回名古屋学院大学大学祭  
(5日(日)まで)
- 3日(金) 陶芸館まつり  
在学生による大学説明会  
第10回ホームカミングデー
- 11日(土) 推薦入試(指定校・スポーツ)
- 13日(月) シティーカレッジ2000  
「三浦綾子と歩いた日々 文学と信仰」  
(講師:三浦光世氏) [名古屋ガーデンパレス]
- 18日(土) 推薦入試(一般)  
チャペルコンサート  
(オルガン:米山麻美, トランペット:松崎祐一)
- 29日(水) スピーチコンテスト(英語)

### 12月

- 6日(水) 手話講演会「ろうあ者と聴者～手話と私～」  
(講師:斉藤澄子氏)  
学生大会
- 9日(土) 講演会「現代日本語」
- 25日(月) 市民クリスマス礼拝・キリスト降誕祭

### 1月

- 13日(土) 講演会「中国語」

### 2月

- 1日(木) 一般入試(前期)  
～4日(日)
- 2日(金) 編入学試験(一般2次)  
特別入試
- 18日(日) 秋学期末試験(31日まで)
- 10日(土) 大学院入試(期)
- 17日(土) 大学院入試(期)
- 18日(日) 大学院博士課程入試

### 3月

- 15日(木) 学位記授与式 [栄光館]



2001年度入試におけるAO(体験入学等による)入試の体験入学が8月19日(土)から22日(火)に実施されました。本学のAO入試は一般的にいわれる「AO入試」とは異なり、4日間の体験入学によって受験生が大学の授業施設や環境をしっかりと体験できること、また本学にとっては、1回のペーパーテストのみによって可否を決めることなく、直接受験生の意欲や潜在能力を見ることが出来ます。まさに本学が求める学生の入学を促す入試といえます。こうした

## AO(体験入学等による)入試

授業の合間には、「パイプオルガンコンサート」「インターネット体験」「ゴルフ教室」「学長室で学長と語る」などの催しがあり、それぞれに多くの参加がありました。

- 全学共通  
「日本語表現入門(4時間)」
- 経済学部  
「早分かり日本経済(4時間)」  
「トピックで知る現代社会(4時間)」
- 商学部  
「くらしと流通(4時間)」  
「パソコンで楽しむ経営学(4時間)」
- 英米語学科  
「パラグラフを意識した英語のライティング(4時間)」  
「Start with Communication(4時間)」
- 中国語学科  
「LL機器を使った中国語初歩(6時間)」  
「中国の社会・文化と日中の文化交流(2時間)」

ことから、本学のAO入試への評価も高く、応募者も昨年より増えています。体験入学時の授業における開講科目は次のとおりで参加者は4日間(1日3時間)で12時間(全学共通4時間+学部8時間)×1時間=70分の授業を受講しました。

## 学校法人名古屋学院大学理事会

- 理事長 内山 道明
- 常任理事 木村 光伸  
玉木 武義  
笠原 英城  
小嶋 博  
小林 甲一  
清水 克正  
堀田 一郎  
増岡 錦也  
横井 弘美  
占部 憲一  
治村 輝夫  
藤田 行政  
加藤 久雄  
斎藤 孝  
加藤 章  
加藤 和良
- 監事 加藤 和良

## 名古屋学院大学父母会

- 会長 田口 利寿(経済3年)
- 副会長 加藤 孝治(商4年)  
林 郷(経済3年)  
寺井 純一(外語2年)
- 会計 長瀬 憲八郎(経済4年)
- 委員 笠井 寛(外語4年)  
豊田 劔次(商3年)  
長江 貞実(外語3年)  
鈴木 國市郎(経済2年)  
三宅 治(外語2年)  
加藤 誌朗(経済1年)  
伊藤 哲夫(経済1年)  
塩山 勝明(商1年)  
舟橋 幸正(外語1年)  
加藤 孝雄(外語1年)  
加藤 修(経済4年)  
鬼頭 万仁(商2年)

## 役員紹介

(敬称略)



表紙写真 / 希望館キャンパスホール

学生のサービスセンターとして希望館2階にある吹き抜けのホール。天井は自然採光のガラスばりとなっており、明るいフロアとなっている。学生課、教務課、就職課のほか銀行・郵便局のATM、スクールバスの回数券販売機、クラブのメールボックスなどがある。1989年希望館完成と同時にオープン。

学校法人 **名古屋学院大学**

発行日 2000年10月20日

編集 名古屋学院大学 広報( UI )委員会

発行者 名古屋学院大学 学長室広報課 愛知県瀬戸市上品野町1350  
〒480-1298 TEL 0561-42-0317( 広報課 ) ISSN 0915-8901

**本学の情報はホームページでもご覧いただけます**

<http://www.ngu.ac.jp/>